

コンチェルト AA 部門

全体的に、みなさん良い技術をお持ちだと思いました。今後は、アーティキュレーションの違い、強弱、様々な性格の弾き分けなどにより注意を払い練習を積み重ねてください。

伴奏について（セコンド；オーケストラパート）：伴奏もとても重要です。伴奏者のお陰でソリストがより美しい表現を生み出せている場合もありましたし、逆に伴奏者の演奏が全体的な演奏の印象を下げてしまっている場合もありました。

みなさん熱演でした。強いて言えば中間部が少し平坦に聴こえる演奏がありました。モチーフのキャラクターを的確に捉えることが望まれます。

- ・それぞれの曲にふさわしいテンポをつかんで弾きましょう。推進力を大切にしてください。
- ・ソリストが伴奏パートを弾くとき、オケパートをよく聞いて、バランスに気をつけましょう。
- ・オケパートとの掛け合いを楽しんで弾けるとさらに良くなると思います。
- ・同じテーマでも、調の違いで変化がつけられるといいですね。

コロナ禍の中で、今年は映像審査になってしまいましたが、演奏動画を録画する作業は solo でも大変なことです。ましてやコンチェルトの部での作業はどれほど大変な事だったのでしょうか、頭が下がる思いです。伴奏者、2台ピアノのある会場の手配にご尽力頂いたお陰で、こうして聴かせて頂いております。ご家族、指導者の皆様、伴奏者の皆様に感謝申し上げます。アンサンブルの審査は楽しく、審査と言うより楽しく聴かせて頂きました。全体のレベルは高く、特にコンチェルト AA のレベルは高く、ショパニストコンチェルト A 部門もこれほどお弾きになるんだと頼もしく聴かせて頂きました。コンチェルト I は経験も少ないので未だ幼い所もあり、もう少しアンサンブルして欲しいと思うところもありましたが、こうしてアンサンブルを楽しまれることでさらに豊かな音楽を楽しまれることでしょうか。

オケから入るタイミングが漠然としています。リズム、和音のバランスにももっと注意を払いましょう。音楽の流れにもっと乗ってオケとの音のバランスをもっとよく聴いて整えましょう。

- ・いろんなジャンルの曲があり、楽しく聞きました。
 - ・伴奏者との音量のバランス、テンポ、フレーズ感が大事。
 - ・ソリストのメロディラインや音色の響かせ方、音楽の流れや盛り上げ方をもっと伝えていただきたいです。
 - ・コンチェルトは究極のアンサンブルなので多く方に挑戦して欲しいなと思います。
-
- ・響きの良いホールで演奏する場合、音が不明瞭にならない様に、打鍵のスピードを調整しながら音の粒も聴きましょう。
 - ・指先の角度や打鍵のスピード、また重心の使い方をコントロールしながら、細かい音のニュアンスを音質・でも表現出来ると良いです。
 - ・タッチとのバランスを聴きながら、ペダルの細かい調整(踏むタイミングや浅い深いなど)を常に心がけましょう。特に響きの良いホールで演奏するときはペダルに細心の注意を払いましょう。